



みやこ  
京のアジェンダ 21 フォーラム  
担当 井上  
電話 075-647-3535

.....  
**生物多様性保全のために、京都の文化を感じる希少な「和の花」を育てませんか  
「KES エコロジカルネットワークプロジェクト」平成 27 年度取組団体を募集しています**  
.....

みやこ  
京のアジェンダ 21 フォーラム(京都市伏見区、代表:内藤正明)と、NPO 法人 KES 環境機構、公益財団法人京都市都市緑化協会、京都駅ビル開発株式会社とが協働で進めている、事業者による生物多様性保全活動「KES エコロジカルネットワークプロジェクト」では、希少種の生息域外保全について、平成 27 年度の取組団体を募集しています。

生物多様性の損失は地球温暖化と並ぶ2大環境問題とされています。京都府内ではレッドリストに掲げられる生物種が急激に増えており、京都市都市緑化協会など各団体では、希少になりつつある地域固有の「和の花」の保全を行ってきました。また、京都市では、平成 26 年 3 月に策定した「京都市生物多様性プラン」に基づき、京都の伝統文化を育んできた本市固有の生態系の保全のために「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト」認定制度を創設しています。企業等の団体においては、「社会貢献活動(CSR)として、都市の生物多様性の確保に貢献したい」という気運が高まっています。

そこで、今年度、関係団体が集まって「KES エコロジカルネットワークプロジェクト」を立ち上げ、企業等の環境マネジメントシステム「KES」の審査登録企業等を中心に、身近に取り組める活動として、希少になりつつある在来の草花である「フタバアオイ」と「フジバカマ」を育て、生物多様性についての理解を深めることから始め、18 の事業所が参加しました。この取り組みは、昨年 10 月に京都市の「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト」に認定されました。

現在、京都市内の KES 審査登録団体を対象に、このプロジェクトの次年度(平成 27 年度)の取組団体を募集しています。次年度は、希少種の生息域外保全として、これまでの「フタバアオイ」「フジバカマ」と、これらに加えて「ヒオウギ」や「キクタニギク」の栽培にも取り組んでいただけるようにしました。申込は 4 月 30 日(木)までとし、説明会を 5 月 29 日(金)、種ごとの育成実習を 6 月 19 日(金)および 26 日(金)に京都工業会館で開催します。

今後は、生物多様性に配慮した自社敷地内の緑化や生物多様性保全活動への参加などへの取り組みにも広げていく予定です。

【対象】 KES 審査登録団体

【申込締切】 2015(平成 27)年 4 月 30 日(木)まで

【申込先】 NPO 法人 KES 環境機構 TEL:075-321-4767 FAX:075-322-6901

E-Mail: kes-ems@keskyoto.org

◆本件問い合わせ先 みやこ 京のアジェンダ 21 フォーラム (担当:井上和彦)

みやこ  
京都市伏見区深草池ノ内町 13 京 エコロジーセンター内(木・日曜休館)  
TEL 075-647-3535 FAX 075-647-3536

E-mail ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp URL <http://ma21f.sblo.jp/>

<団体概要> 京(みやこ)のアジェンダ 21 フォーラムとは

京都市において、市民・事業者・行政のパートナーシップで持続可能な社会づくりを目指す組織。これまでの成果として、「KES・環境マネジメントシステム・スタンダード」の創設、「京都市市民協働発電制度」の提案などがある。

・設立 1998 年 11 月 ・代表 内藤正明(京都大学名誉教授)

(参考資料)

## 環境改善目標1:緑化活動(希少種の生息域外保全)で栽培に取り組む植物

1年目の参加事業者は、**A**または**B**(両方も可)を必須とします。**C**・**D**(両方も可)は希望する事業者が選択できます。

栽培セットの経費は、京都ゆかりの希少種保全のための事業に活用されます。

### **A** フタバアオイ (ウマノスズクサ科 多年草)



1400年続く葵祭に欠かせない植物ですが、環境の変化で激減しています。双葉の間に、小さな赤い花が下向きに目立たないように咲きます。NPO法人「葵プロジェクト」(上賀茂神社内)によって保全繁殖が図られています。

(京都府レッドリスト:記載なし)

- ◆**育て方**: 木かげ、軒下などの半日陰。乾燥や強い日射を嫌います。明るい室内でも可能。
- ◆**花期**: 3月~5月
- ◆**ゴール**: 上賀茂神社に株を返納していただくと、「葵祭」で使われます。
- ◆**栽培セットの経費**: 3株+容器等 5,000円

### **B** フジバカマ (キク科 多年草)



源氏物語にも登場する秋の七草の一つで、水辺に育ちます。一般に流通するのは別種。葉は香料となり、海外との渡りをする蝶アサギマダラが蜜を好むことでも知られます。KBS京都・緑化協会などが保全に取り組んでいます。

京都府レッドリスト:絶滅寸前種

- ◆**育て方**: 日当たりを好みます。夏場は水を十分にやります。風通しに注意します。
- ◆**花期**: (鉢植) 9月下旬~10月
- ◆**ゴール**: 希望する事業者は梅小路公園で実物展示(または写真展示)していただきます。
- ◆**栽培セットの経費**: 5株+容器等 5,000円

### **C** ヒオウギ (アヤメ科 多年草)



鮮やかな朱色の花が祇園祭に合わせたように咲き、厄除け・魔除けとして鉾町などに飾られます。葉は扇が開いたような形です。タネは漆黒で、「ぬばたま」「うばたま」の別名があります。一般にはこれより背が低い変種(ダルマヒオウギ)の系統が流通しています。

京都府レッドリスト:準絶滅危惧種

- ◆**育て方**: 日当たりを好みます。比較的乾燥にも強い。
- ◆**花期**: 7月中旬~9月
- ◆**ゴール**: 希望する事業者は京都駅ビル「緑水歩廊」、祇園祭で実物展示していただきます。
- ◆**栽培セットの経費**: 3株+容器等 3,000円

### **D** キクタニギク (キク科 多年草)



京都の東山を流れる菊溪川の河川敷にかつて自生していたことが和名の由来です。江戸期まで川の周辺はキクの名所でしたが、現在は環境の変化で東山に自生は確認できません。晩秋に小さな明るい黄色の花を多数咲かせます。

京都府レッドリスト:絶滅危惧種

- ◆**育て方**: 日当たりを好みます。風通しに注意します。
- ◆**花期**: 10月下旬~11月
- ◆**ゴール**: 希望する事業者は京都駅ビル「緑水歩廊」で実物展示していただきます。
- ◆**栽培セットの経費**: 3株+容器等 3,000円

※ 栽培指導協力: 公益財団法人京都市都市緑化協会、特定非営利活動法人葵プロジェクト